

わかやま

No.29

和歌山県精神保健福祉センターだより 2006年10月

「和歌山県教育センター学びの丘」

和歌山県教育センター学びの丘所長 吉松 敏隆

「和歌山県教育センター学びの丘」は、平成17年4月、これまで和歌山市に設置されていた「和歌山県教育研修センター」の組織・機構を改編するとともに、施設・設備も充実させ、学校教育支援センターとして、さらに、生涯学習機会・情報の提供や相談に応じる場として、田辺市新庄町の「和歌山県立情報交流センターBig-U」内に移転・開所しました。当センター学びの丘は、総務課、研究開発課、基本研修課、専門研修課、生涯学習支援課、教育相談室（和歌山市の県民交流プラザ和歌山ビッグ愛内）、紀南相談課の1室6課で構成されています。また、県学校教育局小中学校課の教育指導室も併せて開設され、学びの丘の諸事業との連携・協力を行っています。

学びの丘の新たな機能として、カリキュラムセンターとしての役割を果たす「きのくにeラーニングシステム」や「きのくに教育iDC（インターネット・データ・センター）」を導入し、学校教育や生涯学習用コンテンツの研究・開発、蓄積、出前講座等を行い、学校のみならず広く一般の学習にも活用していただいています。

また、環境学習情報センター機能として、様々な学習図書や教材等を揃え、それらを学校で活用していただくとともに、地域の学校と連携した取組を行ったり、環境学習に関わる情報を発信しています。

教職員の研修事業については、今日的教育課題に対応した新しい研修体系のもと、初任者研修や5年経験者研修、10年経験者研修等の基本研修のほか、IT機器やプラネタリウム、電子顕微鏡等、新しい施設・設備を活用した様々な専門研修や諸事業を行っています。

生涯学習支援課では、県生涯学習局生涯学習課と連携しながら、紀南地方における様々な学習機会の提供や相談を行うとともに、学びの丘の施設・設備を有効に活用した事業も展開しています。

教育相談事業については、和歌山市内の「教育相談室」が相談に関するセンター的役割を担いながら、学びの丘の紀南相談課とともに、不登校等心理的な問題を持つ児童生徒についての「心の教育相談」、障害のある子どもについての「特別支援教育相談」等を行っています。また、伊都、有田、日高、東牟婁地方に、それぞれ「教育相談ルーム」を設置し、教育相談主事が対応しています。

学校教育に様々な期待が寄せられている昨今、いつの時代にも求められる教員の資質・能力と今日的な課題を踏まえながら、実践的指導力の向上につながる研修とともに、学校教育支援、生涯学習支援を一層充実させて行きたいと考えています。

もくじ

- P 1 和歌山県教育センター学びの丘
- P 2/3 「障害者自立支援法」に伴い、障害者福祉サービスが変わります
- P 4 精神障害者通所授産施設「あすなる共同作業所」
- P 5 メンタルヘルスニュース 所長のひとりごと
- P 6 は一とふるネットワーク
「共同作業所エルシティオ 永井 契嗣さん」
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎(073)435-5194 FAX(073)435-5193

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050300/050301/index.htm>

平成18年10月「障害者自立支援法」に伴い、 障害者福祉サービスが変わります

障害者は3つの種類に分けられ、障害の種類や年齢により受けられる福祉サービスの内容などが決められていましたが、平成18年4月1日から「障害者自立支援法」により、どの障害の人も共通の福祉サービスが地域において受けられるようになりました。

10月からのサービスはこのようになります。

■自立支援給付

◎介護給付

☆ <訪問系（在宅で利用するサービス）>

◇居宅介護（ホームヘルプ）

自宅で、入浴、排泄、食事の介護等を行います。

◇重度訪問介護

重度の肢体不自由者で常時介護を要する方が対象となります。居宅における入浴、排泄、食事の介護などから、外出時の移動中の介護を総合的に行うサービスを提供します。

◇行動援護

自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。

◇重度障害者等包括支援

常時介護を必要とする方で、介護の必要の程度が著しく高い方を対象とし、居宅介護をはじめとする福祉サービスを包括的に提供します。

◇児童デイサービス

障害児に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。

◇短期入所（ショートステイ）

自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴、排泄、食事の介護等を行います。

☆ <日中活動（入所施設等での昼間の活動の支援）>

◇療養介護

医療を要する障害者で常時介護を要する方が対象となります。主に昼間、病院その他施設などで行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下での介護や日常生活上のサービスを提供します。

◇生活介護

常時介護を必要とする方が対象となります。主に昼間、障害者支援施設などで行われる入浴、排泄、食事の介護や、創作活動又は生産活動の機会の提供などのサービスを提供します。

☆ <居住支援（入所施設での住まいの場としてのサービス）>

◇施設入所支援

施設入所者に対して主に夜間や休日に入浴、排泄、食事の介護などのサービスを提供します。

◇共同生活介護（ケアホーム）

共同生活を営む住居において主に夜間や休日に入浴、排泄、食事の介護などのサービスを提供します。

◎訓練等給付

☆ <日中活動（入所施設等での昼間の活動の支援）>

◇自立訓練

自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、定められた期間、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練等が受けられます。

◇就労移行支援

就労を希望する方を対象に、定められた期間、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練が受けられます。

◇就労継続支援

通常の事業者には雇用されることが困難な方を対象に、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練が受けられます。

☆ <居住支援（入所施設での住まいの場としてのサービス）>

◇共同生活援助（グループホーム）

夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。

■地域生活支援事業が始まりました。

自立支援給付以外に、市町村が地域の実情にあわせ、障害者の地域における生活を支える様々なサービスが地域生活支援事業です。（市町村によってサービスは異なります。）

◇相談支援事業

障害者や家族の相談に応じます。

◇地域活動支援センター

創作的活動や生産活動、社会との交流促進など多様な活動の場を設けます。

◇コミュニケーション支援

手話通訳者等を派遣する事業などを行います。

◇日常生活用具の給付・貸与事業

日常生活の利便をはかるための用具を給付・貸与します。

◇移動支援事業

外出時の円滑な移動を支援します。

◇福祉ホーム

住居を必要としている人に、低額な料金で、居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。

■補装具の新制度による支給が始まりました。

事前の申請により、補装具の購入・修理が必要と認められるときは、購入又は修理費用について、補装具費の支給が受けられます。ただし、利用者負担額は原則として補装具にかかる費用の1割となります。（所得に応じて、ある一定金額以上の負担を求めない「月額負担上限」が設定されています。）

■障害程度区分の認定を行った上での、福祉サービスの支給決定が始まりました。

障害を持つ方の福祉サービスの必要性を総合的に判定するため、支給決定の各段階において、①障害者の心身の状況（障害程度区分）、②社会活動や介護者、居住等の状況、③サービスの利用意向、④訓練・就労に関する評価等を総合的に判断し、福祉サービスの支給決定を行います。

■今までの「更正医療」「育成医療」「精神障害者通院医療」公費負担制度が「自立支援医療」としてひとつの制度になりました。

■定率1割負担を原則とする利用者負担の仕組みが始まりました。

※福祉サービス利用の申請は各市町村役場となっています。

※施設サービス体系は、おおむね5年をかけて段階的に変わってゆきます。

このコーナーでは、シリーズで県内の組織やグループの活動を紹介します。

精神障害者通所授産施設

「あすなる共同作業所」

今年6月、精神障害者通所授産施設あすなる共同作業所が海南市に開所しました。

これは、平成6年に海南海草地区の精神障害者家族会「紙ふうせん」の方たちが中心になって開所させた無認可共同作業所「海南ワーク」を社会福祉法人一峰会が引き継いだものです。

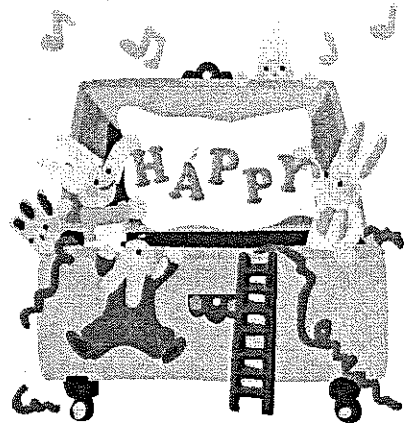
12年間「海南ワーク」を支え続けた家族会、国保野上厚生総合病院の上野医師をはじめ、職員、運営委員の方たちの思いを引き継いでいく私たち職員はその責任の重さを感じ身が引き締まる思いです。おりしも自立支援法が施行される年でもあります。

先が見えにくい現在の状況の中で不安感を抱えつつ、職員7名と海南ワークのメンバー8名は新しい出発をしました。

授産内容は、日用雑貨の下請け作業（無印のトイレポット、トイレブラシなどの組み立て、包装）、ケーキ作り（パウンドケーキはとても好評です）にとりくんでいます。また、今後、海南市からも清掃、草刈などの仕事もいただく予定です。

現在メンバーの工賃は、1ヶ月がんばっても1万円足らずですが、当面12月にはボーナスを出すことを目標にがんばっています。

あすなる共同作業所の開所以来、たくさんの方が見学や相談にみえます。その中でメンバーは徐々に増え、現在16名が通所しています。海南海草地区に、精神障害者のための地域支援の拠点となるべき場所が必要とされていた事をつくづく実感しております。



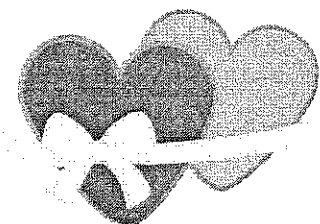
また、民生委員や人権尊重推進委員の方等、地域のいろいろな団体や個人の方が見学にこられます。

今後、地域の人々と交流を深めながら活動していく中で、精神障害者への正しい理解が広がっていくことを願っています。

あすなる共同作業所を開所する直前に、麦の郷、やおき福祉会、あるべじおの職員の方たちにいろいろ学びました。和歌山県が精神障害者の地域活動では全国的に先進県であることを知りました。

多くの頼もしい先輩たちに学びながら、職員メンバー一同頑張りますので、よろしくお願ひします。

あすなる共同作業所 竹内 良子



県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

相談支援従事者初任者研修

8月2日(水)・3日(木)・4日(金)・9日(水)・10日(木)に、子ども・障害者相談センターにて開催されました。従来のケアマネ研修未受講者で10月以降、相談支援専門員やサービス管理責任者となられる方が対象で、180名の方が受講されました。

ひきこもり訪問サポーター養成研修 (28日はひきこもり専門研修を兼ねる)

8月18日(金)、28日(月)にビッグ愛にて開催されました。来年度から試行的に活動する予定のひきこもり訪問サポーターが、仮登録者としてですが、14名の方が誕生しました。

こころのレスキュー隊基礎研修会

9月12日(火)に子ども・障害者相談センター多目的ホールで武蔵野大学教授の藤森和美先生を招いて「学校の緊急支援とトラウマ」というテーマで講演があり、80名の受講がありました。先生からは、奥尻島地震の際の支援の経過など子どものトラウマ全般についてのお話と学校緊急支援の有効性についてお話がありました。

思春期セミナー

9月22日(金)ビッグ愛にて、「子どものうつ」をテーマに北海道大学院、傳田健三先生を講師に研修会を開催しました。最近人気の高いテーマで多くの子どもにかかわる関係者が、子どものうつの現状と治療に関して学びました。

こころの健康講座

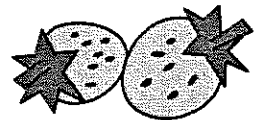
10月3日(火)に有田振興局大会議室で「うつ病とはどんな病気?心の健康を保つためには」というテーマで、和歌山県立医科大学の篠崎和弘先生を講師に講演会を開催しました。130名の受講がありました。各受講者がチェックリストの採点などをする中で、うつの基本的な症状と治療についての正しい知識や、職場や家族の対応について、また、うつ病の治療の大切さについて学びました。

精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会

10月4日(水)に和歌山ビッグホエールにて開催されました。9チーム、117名(選手89名、役員28名)が参加し、熱戦の結果、優勝 紀南ベンケイズ(紀南こころの医療センター・田辺市) 準優勝 地域活動支援センター櫻(和歌山市) 三位 ピーチマロン(ももたにクリニック・和歌山市)となりました。

こころがほっとするメッセージ

9月25日をもって応募を締め切りました。受賞作品は、11月18日・19日に開催される「わかやまこころのフェスティバル2006」(「ふれあい人権フェスタ2006」同時開催)で表彰されます。次回2007年1月号に受賞作品を掲載する予定です。



所長のひとりごと

～映画「海と夕陽と彼女の涙～ストロベリーフィールズ」一緒にみませんか?～

所長の北端です。皆様ご無沙汰しております。皆様はいかがお過ごしでしょうか?私は9月13日に出張先で冷たい雨にうたれ風邪をひいてしまい、その後2週間咳が止まりませんでした。ある日急に咳が止まったと思ったら、また3日後に風邪をひいてしまい、今日で4日間咳が止まっています(10月6日現在)。ゲホ、ゲホ、げほ...

さて、11月18日(土)・19日(日)に、和歌山ビッグホエールにて「わかやまこころのフェスティバル2006」が開催されます(ふれあい人権フェスタ2006と共同開催)。11月19日午前10時30分から12時まで、ビッグホエール軽運動場にて、所長推薦映画(というか、和歌山県推薦映画)「海と夕陽と彼女の涙～ストロベリーフィールズ～」を上映いたします。田辺市が舞台の映画で、夏に和歌山で先行上映され、現在東京の映画館などでも単館上映中です。あまり知られていない映画ですが、一度観た方は皆さん「いい映画だった。」と教えてください。キーワードは「喪失」、「絆」、「自由」、「自信」でしょうか?入場無料、先着240名様まで入場可能ですので、皆様是非一緒にみましょう?

午後1時30分からは、「ピア下津作業所」のみなさんによるオーブンコンサート、「こころがほっとするメッセージ」表彰式、コンサート「沖縄の光と風～沖縄民謡と舞踊」とイベントが目白押しです。「こころがほっとするメッセージ」は応募総数1,500弱と昨年の1.5倍の応募があり、選考委員は頭を悩ませているようです。結果は当日発表

となります。応募された方は当日までフクフクしながらお待ちください。

また、11月18・19日の両日に渡り、ビッグホエール内の会場で各団体様によるブースイベントが開催されますので、是非お立ち寄りお願い申し上げます。

「海と夕陽と彼女の涙～ストロベリーフィールズ～」ストーリー

夕陽が美しい和歌山県田辺市。ある日、そんな美しくも懐かしい昔ながらの風情の残す町で自動車事故によりクラスの3人の友達を亡くす17歳の女子高生・夏美。彼女は、決して表に出るタイプの性格ではなく、教室でいじめられるタイプの女の子であった。同じクラスでありながら仲がいいと言えない夏美、マキ、理沙、美香の4人。しかし、その4人に奇跡が起きた。夏美を除く事故で命を落とした3人が48時間だけ現世に戻ってきて生きている間にできなかった夢を叶えようとする。ただ、その3人を見ることができて会話もできるのは夏美ただひとりだった。反発しあいながらも、好きな食べ物・景色・人のことを話し合い、思い出を語りあう4人であった。そんな楽しくも辛いひとときも、48時間という運命の時間をめぐることは、誰にもできない。4人の青春の一瞬がまたたく間に過ぎ去っていくが、そんな4人の想いは、遙かなる田辺の大地の上で真の友情を築くのだった。

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。
今回は、共同作業所エルシティオの永井契嗣さんです。



はーとふるネットワーク



一 エルシティオでの勤務はどれくらいになりますか？

今年の9月で丸4年が過ぎまして、5年目になります。

一 相談員になられたきっかけは？

自分自身の不登校・ひきこもりの体験と、大学時代「プラットホーム」という不登校支援サークルに携わる人たち（不登校の子どもたち、その親御さん、相談員の先生方そして学生たち）との出会いが、今この仕事をしているきっかけかなと思います。

一 この仕事をしていて良かったと思う時はどんなときですか？

仕事と称して遊んでいる時。この前は、エルシティオの仲間とバンドをやりまして、ギャラまで頂くという快挙を成し遂げました。

人を避けて家にこもっていた連中が人前で演奏をし、喋り、唄う。そして喝采を受けそれを喜びと感じる。彼らが（私も含めて）人の中に自然と入り込める日もそう遠くないのかと思えた時でした。

一 この仕事で苦勞する点は何のようなことですか？

相談員だとかスタッフだとか、時には「先生」だとか、偉そうな呼ばれ方をしていますが、何ができるというわけはない。一体何をすれば「仕事」になるのか、まったくもってそれがわからない、というようなことでしょうか。

研修等のお知らせ

○ 市町村及び保健所職員合同研修(精神保健)

日 時：H18年11月9日(木) 10日(金)

場 所：和歌山ビッグ愛9階 りいぶる研修室

対 象：精神保健福祉業務に従事する市町村及び保健所職員等

定 員：60名

講 義：「地域で取り組むうつ病・自殺対策」

：「うつ病・自殺対策の基礎知識」

：「災害後のこころのケアと防災計画」(こころ

のレスキュー隊養成基礎研修と合同開催)

○ こころのレスキュー隊養成基礎研修

日 時：H18年11月10日(金)

場 所：和歌山ビッグ愛9階 りいぶる研修室

対 象：医師・精神保健福祉士・臨床心理士・保健師
看護師・教師

講 義：「災害後のこころのケアと防災計画」

講 師：兵庫教育大学教授 岩井 圭司

○ わかやまこころのフェスティバル2006

日 時：H18年11月18日(土) 19日(日)

場 所：和歌山ビッグホール

(19日のイベント)

・映画上映

「海と夕陽と彼女の涙～ストロベリーフィールズ」

・オープニングコンサート

精神障害者小規模作業所「ピア下津作業所」の皆さん

・和歌山県精神保健福祉教会会長表彰式

・コンサート「～沖縄の光と風～ 沖縄民謡と舞踊」

※両日関連団体のブースイベントも盛りだくさんです。

編集後記

各地で秋祭りや運動会のたよりが届き、爽やかな秋・スポーツの秋を実感しています。今年も「わかやまこころのフェスティバル2006」が開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。

一 エルシティオのPRを一言お願いします。

おいしいコーヒーは飲んでいますか？私は毎日飲んでます。エルシティオにはおいしいコーヒーがありますので、飲みに来てください。そして、飲んだら必ず買って帰ってください。よろしく。

一 休日はどのように過ごされていますか？

最近、自転車を磨いています。たまに乗っています。たまに乗るとおしりが痛いです。あとうどんを打っています。うどん専用の小麦粉を買いました。どんだけうまいか楽しみです。

一 今後の抱負を教えてください。

具体的に何かしたいとかいうのはないんですが、仕事にしても遊びにしても全てひっくるめて、自分自身納得するというところにこだわっていきたいと思っています。

一 永井さんから、次の方のご紹介をお願いします。

「プラットホーム」の後輩でもある(ということとはつまり私がこの仕事に就くきっかけの極一部でもある)麦の郷紀の川岩出地域生活支援センター パートフルハウスの里中麻希(さとなかまき)さんを紹介します。最近ますます磨きがかかったと噂のポケッぷりをご堪能下さいましたら幸いです。

○ 社会的ひきこもり家族教室

日 時：H18年11月22日(水)～

場 所：精神保健福祉センタープレイルーム

対 象：社会的ひきこもり者の家族

内 容：ひきこもり理解、当事者から家族へのメッセージ他。5回1クールで実施。

○ SST研修(中級)

日 時：H18年12月7日(水)・8日(木)

場 所：和歌山ビッグ愛

講 師：ルーテル学院大学院教授 前田ケイ

○ こころのレスキュー隊実践研修

日 時：H18年12月23日(土)・24日(日)

場 所：和歌山ビッグ愛6階会議室

対 象：隊員登録ならびに隊員仮登録希望者

講 師：山口県精神保健福祉センター所長 河野通英

内 容：図上訓練、体験CRT、
報道対応について(演習)

